

○ハンググライディングシリーズ2016年度ルール改定サマリー

■GAPバージョンを2008から2014に変更

- ・タスクストップのルール変更
 - －タスク成立の判定条件が変更(詳細は規定を参照ください)
 - －タスクストップ時点の高度が距離に換算される
 - －フライトの集計対象時間が全選手で同じ時間幅になる
- ・フライングのルール変更
 - －フライングした時間に応じて減点される(3秒で1点)
 - －タイム得点、アライバル得点、リーディング得点はもらえる
 - －最大時間(15分)以上フライングした場合はミニマム得点になる
- ・テイクオフ係数の緩和
 - －競技選手の4%以上がDNFでなければテイクオフ係数は1のままとなる

■競技規定

- ・携帯機器のログ採用
- ・呼称の変更
 - －ゲートオープン→テイクオフオープン、デパーチャーオープン→スタートゲートオープンなど(詳細は規定を参照ください)
- ・テイクオフオープン前の移動
 - －エリアの特性を考慮して、競技委員長が事前に移動を許可する場合がある
- ・セットアップゾーン内での所作
 - －競技開始時間前にグライダーの向きを変える、プレフライトチェックを行うなどの行為を許可する

■開催規定

- ・CTRの採用
 - －CTRファイルを事前に競技委員会HPIに公開する
 - －GPSでのCTRファイルの設定(アップロード含む)は選手の責任とする

■海外ポイント規定

- ・採用条件の緩和
 - －参加人数:50人→40人
 - －国際シード:5人→3人

■クラス5規則

- ・規則全般の見直し
 - －クラス1の規則をベースにして、クラス5固有のルールのみを記載する
- ・世界選手権選抜基準
 - －Civlランキングに基づいて選抜する